

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

4 款 衛生費

2 項 環境衛生費

環境立県推進課 (内線 : 7 8 9 5)

4 目 環境保全費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) とっとりカーボンオフセット推進事業	6,781	0	6,781				6,781	
トータルコスト	9,267千円 (前年度0千円)							
従事する職員数	正職員 : 0. 30人							
主な業務内容	制度周知、補助金交付、普及啓発、関係機関との連絡調整							
事業内容の説明								
1 目的								
地球温暖化防止に向けた環境保全意識の高まりを背景として急速に関心が高まりつつある「カーボンオフセット」について、県内の取組を推進するため、モデル事業及び支援を行う。								
2 事業の概要								
(1) カーボンオフセット推進モデル事業 (4, 781千円)								
○オフセットプロバイダーの養成 (694千円)								
森林整備活動等のオフセット事業と企業を橋渡しする「プロバイダー」を養成する。								
・知識、技術習得研修の実施								
・オフセット事業の情報発信経費の助成								
○森林カーボンオフセットの試行的実施 (732千円)								
カーボンオフセットの普及を図るため、養成したプロバイダーと協働して森林カーボンオフセットのモデル事業を実施する。								
・県営林における森林吸収クレジット創出の試行事業を実施								
・獲得したクレジットを用い、企業のCO2排出の一部をオフセット								
○カーボンオフセット・シンポジウムの開催 (346千円)								
県民、企業にカーボンオフセットの取組みの普及啓発を行う。								
○カーボンオフセットのピーアール (1,906千円)								
県内企業や県民にカーボンオフセットを普及し、CO2の地産地消 (県内で排出されるCO2は県内で削減・吸収) モデルを構築するため、新聞、ポスター等で広くPRする。								
○その他事務費 (1,103千円)								
(2) 温室効果ガス排出削減クレジット推進事業 (2,000千円)								
カーボンオフセットをはじめとする国内クレジット制度等を利用して温室効果ガス排出削減に取り組む事業者に支援を行う。								
(補助対象者) 県内の民間事業者								
(対象事業) 県内の温室効果ガス排出削減につながる国内クレジット等の認証に要する経費								
・認証機関への登録手数料、申請手数料								
・排出削減計画の第三者審査費用								
(補助率) 対象経費 (国庫補助等が利用できる場合は自己負担額に限る。) の10/10								
(限度額200千円)								
※カーボンオフセットとは								
省エネなどの努力をしても、どうしても排出してしまう温暖化ガスを自分ではない別の場所、別の人が行う「温室効果ガス削減事業」の効果を得ることで、差引ゼロにするという考え方。								